

取扱いの趣旨

パンクレリパーゼは、非代償期の慢性膵炎、膵切除、膵嚢胞線維症等を原疾患とする膵外分泌機能不全により、脂肪便等の症状を呈する患者が投与対象であり、膵外分泌機能不全がない単なる膵疾患に対する算定は、原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【投薬】 《令和7年2月28日》

463 パンクレリパーゼ（単なる膵疾患）の算定について

○ 取扱い

膵外分泌機能不全がない単なる膵疾患に対するパンクレリパーゼ（リパクレオンカプセル等）の算定は、原則として認められない。

○ 取扱いを作成した根拠等

パンクレリパーゼ（リパクレオンカプセル）の添付文書の効能・効果には「膵外分泌機能不全における膵消化酵素の補充」と示されている。また、関連する注意として「非代償期の慢性膵炎、膵切除、膵嚢胞線維症等を原疾患とする膵外分泌機能不全により、脂肪便等の症状を呈する患者に投与すること」と示されている。

したがって、単なる膵疾患のみに対する算定は適切ではない。

以上のことから、膵外分泌機能不全がない単なる膵疾患に対する当該医薬品の算定は、原則として認められないと判断した。

グラフの見方

1 棒グラフ(該当レセプトの審査結果)

当該事例の取扱いの対象となる診療行為（医薬品、特定器材）を算定している目視対象レセプト
1万件当たり、取扱いの趣旨に該当するレセプト件数

2 折れ線グラフ

取扱いの趣旨に該当するレセプトのうち、
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

査定	返戻	: 取扱いどおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

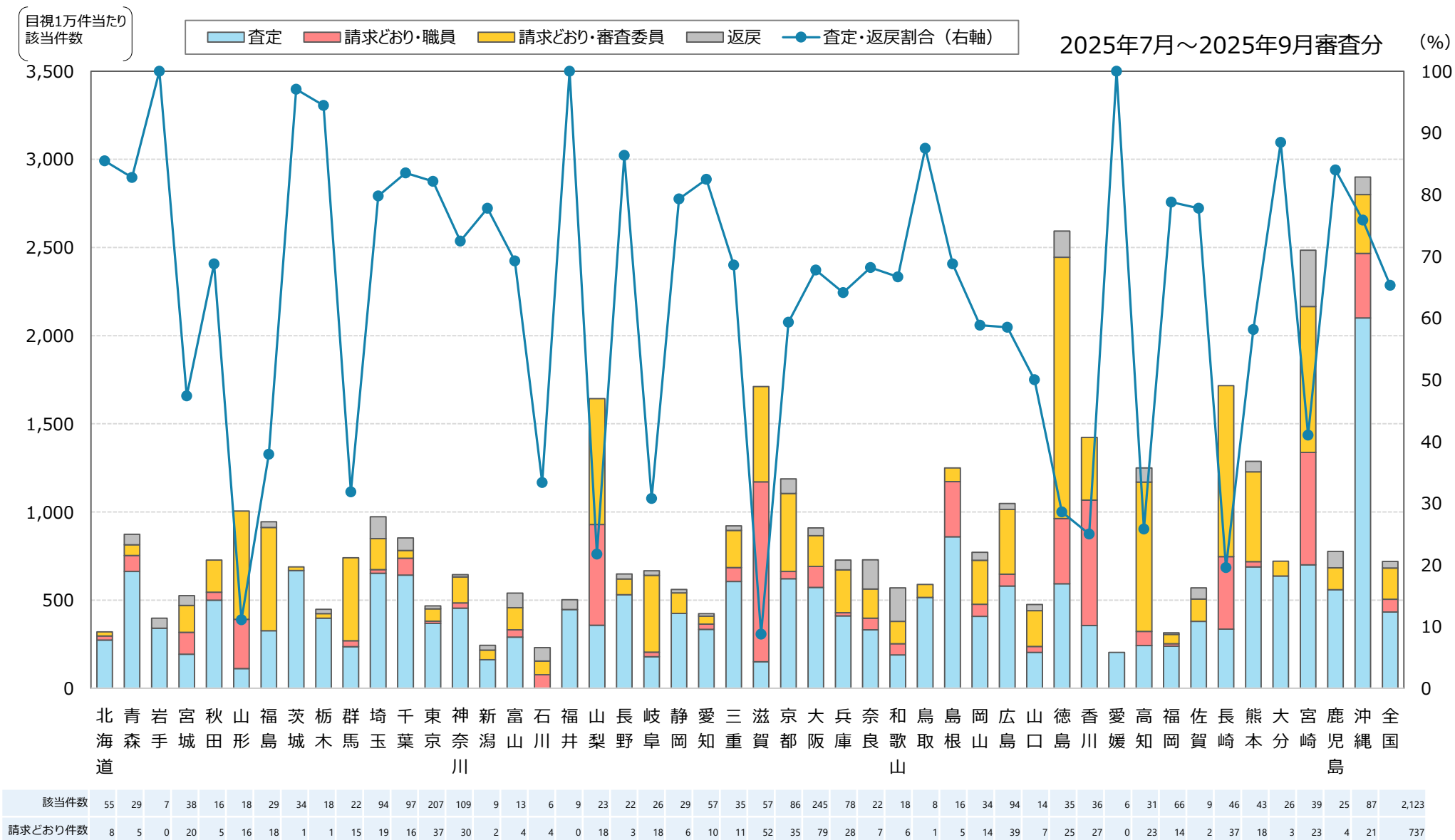
審査結果の概要

- 全国の査定・返戻割合 65.28%
- 検証対象都道府県 42

検証観点	都道府県※	備考
査定・返戻割合が低い	滋賀、山形、長崎、山梨、香川、高知、徳島、岐阜、群馬、石川、福島、宮崎、宮城、山口、熊本、広島	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	滋賀、香川、宮崎、山梨、長崎、徳島、沖縄、島根、山形、宮城、大阪、千葉、青森、高知、三重、石川	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	徳島、長崎、高知、宮崎、山梨、山形、福島、滋賀、熊本、群馬、京都、岐阜、広島、香川、沖縄、岡山	//

※検証対象都道府県が16を超えたため、16都道府県を限度に表記している

該当件数（全国）	【条件】	2,123件
取扱いに基づく審査	査定・返戻の計	1,386件
検証を必要とする審査	請求どおり	737件



【該当件数】 取扱いの趣旨に該当したレセプト件数